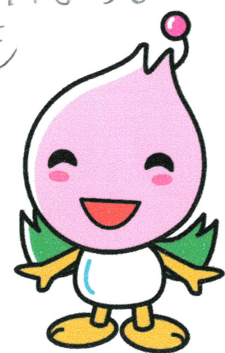


平和のメッセージ

平和のために、私たちにできること

私は、4月21日に、ユネスコ協会の会長さんから、アンネのバラをいただきました。それと同時にアンネ・フランクの話を聞きました。私はアンネのことは何も知らなかったです。でも話を聞くと今の世界とはちがったんだなと思い、かわいそうだと感じました。そして、5月14日、アンネのバラがたくさん咲いたとき、アンネは、このバラがゆいいつの心の支えだったんだと思い、かなしい気持ちになりました。そして、アンネのことをもっと知りたいと思い、アンネの日記の資料を読みました。読んでみると、アンネはユダヤ人というだけで迫害を受け、かくれ家を2年間もくらさないとはいけなかったと知り、そして、平和ではなかったとあらためて思い知りました。アンネは悪いことをしていないのに、なぜ追われないとはいけないのか、疑問に思いました。そして、人種差別は絶対にしてはいけないことだと思いました。このように、平和ではなかったと知り、どう思いましたか？ 私は、平和を大切にしないといけないと感じました。そして、私たちが平和のためにできることは、一人一人が平和について考え、行重かしていくことだと思います。どれくらい平和が大切かを知って、これからも平和を大事にしていきたいです。

那加第三 小学校 6 年



平和のメッセージ

平和のために、私たちにできること

この世界を見て、アンネはどう思うだろう。僕は、力強く咲いたアンネのバラを見て、考えた。アンネはユダヤ人迫害により、15歳という若さで亡くなった、平和の使者だ。今、この瞬間も、世界のどこかで銃弾が飛びかっているかもしれない。この世の中は、アンネの望む世界か。答えは簡単だった。アンネのバラは、毎年のように力強く咲き、一瞬ではっと散り、枯れる。普通のバラと、一見同じだ。しかし、アンネのバラは、小さく、やさしく、力強く平和を唱えているような感じがした。そして、ふと思った。自分の国だけが平和であれば、それは平和と言えるのだろうか。自分だけが平和であれば、一日に何万人と戦死者が出ても、それは平和なのか。僕は、そんなことを、一人でも多くの人に考えてほしい。そのために僕は何かができるか。まず、学校の人に知らしてもらおうことです。その一つの手段として、今僕はこのメッセージを書いています。しかし、この文章は、世界全員の目には届かないと思います。この他にも、何億と方法があるはず。一人では限界がありますが、一人一人得意な事が、全員が得意なことを發揮すれば、明るい未来が来るはず。僕は平和を唱え続けます。アンネも、世界も笑顔になる。その時まで。

那加第三

小学校 六 年

